

コミュニティづくり学習会 ニュース 第3号

まちづくりの目標の実現に向けた活動は？

まちづくりを支える新たな組織づくりを目指して、これからのまちづくりについて多くの住民の皆さんと語り合う第4回「コミュニティづくり学習会」を2月23日（日）に二日市小学校多目的ホールで開催しました。

学習会としては最終回となる今回は、128名の方々が参加しました。まちづくりの目標の実現のための活動について、これまでの学習会の結果を踏まえて設定した「自然・環境・歴史・文化」「安全・安心」「子ども・子育て」「高齢者支援」「地域のつながり」「地域の活性化」の6つのテーマ別に、日ごろ関わっている活動や関心の高いテーマなどの希望をとり、19のグループに分かれて話し合いました。

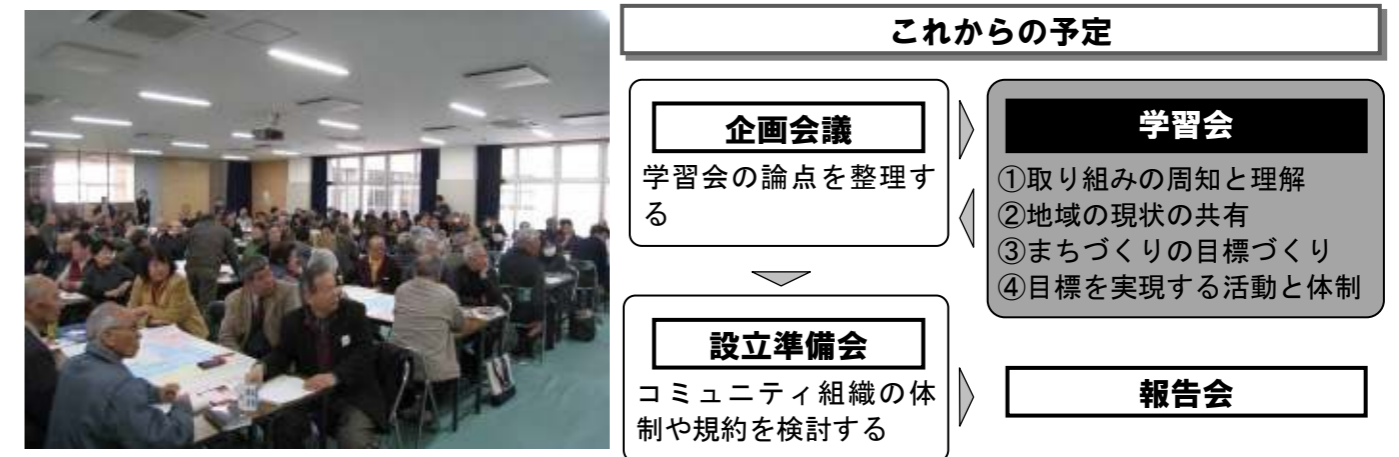
地域のつながり・交流	新たに考えられた活動
① 心“尊敬・感謝”で つながる二日市	☆地域への理解者を探す、作る ☆情報発信方法の改善 ☆地域ボランティアの拡大 ☆地域消防団の活動理解 ☆コミセンで連絡協議、交流 ☆現状の地域活動の反省点ないが見直す ☆いつでも集えるサロンづくり ☆高齢者と中年、若年との交流会を開く ☆子ども達と継続的な交流
② 挨拶と笑顔がとびかう地 域	☆他地区との交流を積極的に作る ☆地域を横に広げたスポーツイベント（交流会） ☆総合型スポーツクラブ（1コミュニティに一つ） ☆地区委員、子ども会の一歩化（若者の参加）
③ 笑顔でつなぐ二日市	☆あいさつ運動、あいさつお返し運動 ☆コミュニティで一斉に行うことを決めて実施 ☆休会の子どもの会の復活 ☆不定期・不定時にパトロール隊を設立 ☆多世代交流イベントの活性化 ☆子どもを中心に据え、大人（親）も行事に参加

「地域のつながり・交流」は3つのグループに分かれて話し合いました。



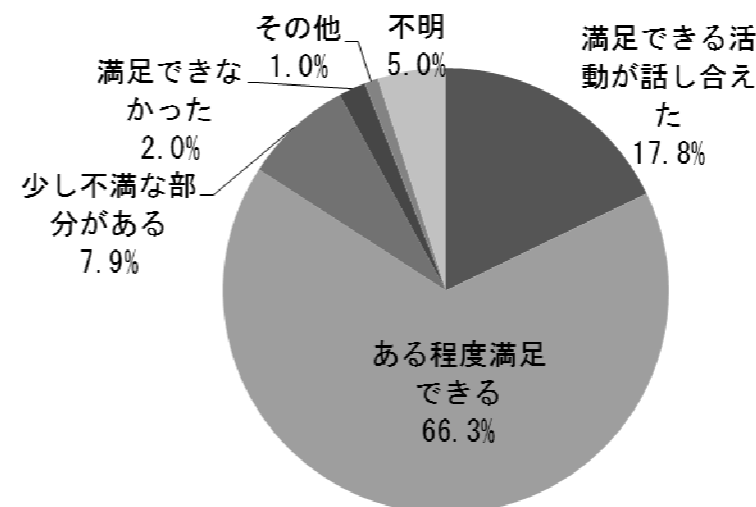
地域の活性化	新たに考えられた活動
① 市役所建替えが 市の活性化へつながる	☆各地域の歴史的文化を語りつなげる ☆地区ごと夏祭り等、情報の交換と交流 ☆ボランティアグループを育成、他地区との交流 ☆まず各地域の取りまとめから ☆各行政区（地域）が連携して活動 ☆子ども達の地域行事への参加 ☆各地区の協同と連帯感の育成 ☆各地域で行っている同様のものを年1~2回合同で行う（地域別対抗ゴルフ）
② 地域行事の活性化	☆地域の共通の目玉を決める ☆活動の大・中・小を考える ☆学習会を続けていく ☆興味があるような催し事を考える ☆JR二日市⇄西鉄二日市間の小型バスの運行 ☆二日市コミュニティセンターを中央通りに移設 ☆市役所の建替え（中央通り商店街ジャスコ跡地の利用）

「地域の活性化」は2つのグループに分かれて話し合いました。

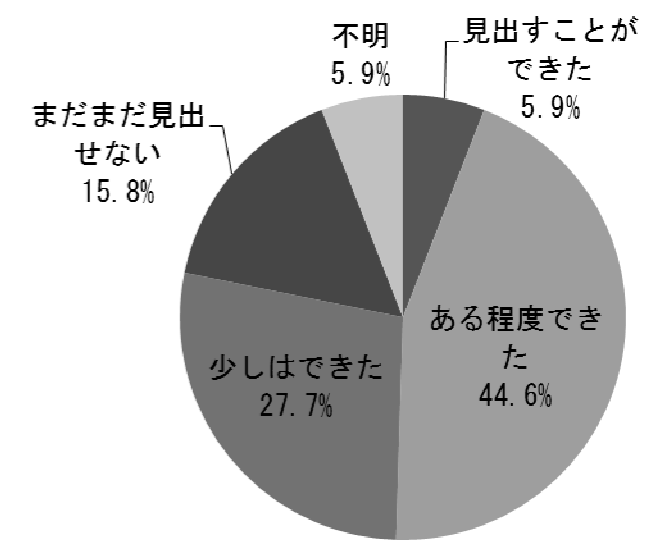


第4回学習会 参加者アンケートの結果（抜粋）

まちづくりの目標の実現のための活動は？



学習会でまちづくりの方向性は？



コミュニティづくり報告会のお知らせ

4回の学習会で話し合われた内容のまとめ、組織づくりに向けた準備会などのこれからの進め方について報告会を開催します。

これまで学習会に来たことがない方でも参加できます。多くの方々の参加をお待ちしております。

日時：3月25日（火）19：00～ 場所：生涯学習センター 視聴覚室

問合せ先 市民協働推進課 地域コミュニティ担当 (092-923-1111 内線 211・212)

話し合われた目標とその実現に向けた活動（新たな活動を抜粋）

それぞれのテーマ別にまちづくりの目標の実現に向けて何をすべきかを考えていくうえで、大切にしたいことや忘れてはいけないことを確認し合い、今行っている活動、お互いに連携・協力することでさらによくなるような活動、新たな活動のアイデアを考えました。さらに、それぞれのテーマごとに具体的なまちづくりの目標をまとめました。

自然・環境・歴史・文化	新たに考えられた活動
① 自然・歴史・環境を愛する町	☆文化財の協力（教育委員会） ☆他地域の活動を見学、情報交換、共有 ☆薬膳の里づくり ☆宣伝活動の強化（新聞、テレビ、マップ） ☆広報誌の作成 ☆地元紙の発行 ☆案内板の作成
② 自然・環境・歴史・文化を愛するまち	☆地域（区）の諸情報誌を共有財産化する ☆リタイヤ組で関心を持った人材を発掘 ☆史跡巡りボランティアの養成 ☆自然・環境・歴史・文化を融合した観光

「自然・環境・歴史・文化」は2つのグループに分かれて話し合いました。



安全・安心	新たに考えられた活動
① 全員参加型 安全・安心な笑顔の二日市	☆安全パトロールの回数を増やす ☆青パトの増車 ☆防犯ジャンパー等の配布 ☆交通指導員の配置、増員 ☆さまざまな活動の情報を共有 ☆学校との連携 ☆見守り中の気づきの情報の共有化
② 安全・安心な街 二日市	☆若い人達の参加を促す ☆見守り等の活動の魅力ある呼びかけ ☆子ども達の防犯パトロールへの参加 ☆見守り隊の参加を順番に回す
③ 住み続けたい町（安全な町）	☆ボランティア活動への意識、町への意識改革 ☆防犯連絡協議会の設立（広い地域で情報を共有するシステムの構築）
④ 子ども・障がい者・高齢者に安全安心な町づくり	☆LED電球普及 ☆道路にはみ出した樹木等の取り除き ☆歩道・自転車道の整備（拡幅） ☆側溝（農業用水路）のふたかけ ☆自主防災組織の連合（組織化連携） ☆災害時の高齢者支援 ☆防災指導員の訓練

「安全・安心」は4つのグループに分かれて話し合いました。

子ども・子育て	新たに考えられた活動
① 子育て支援	☆小・中・高・特支・地域・学校間交流の拡大 ☆学校と地域との連携（コミュニティスクール） ☆子どもが判断する機会を多くする ☆子どもと親の共同参加の増大 ☆各町内での活動状況の情報交流の場を設ける ☆区を越えて子ども会会員の交流 ☆コミュニティセンターで子育てサロン（行政区とは関係なく）
② ボランティア精神を高めよう	☆子どものさまざまな活動へ参加する人を増やす ☆子ども、親の参加を増やす ☆あきらめず根気強く呼びかけを続ける ☆子ども会役員の負担の軽減 ☆地域の住民活動体の連携、活動の活性化 ☆公民館開放、手の空いた大人が見守る ☆下校時見守りも実施 ☆老人会、子ども会からボランティアを募る ☆二つある子ども会を一つにまとめる ☆子どもの権利条例を理解する機会を設ける

「子ども・子育て」は2つのグループに分かれて話し合いました。



「高齢者支援」は6つのグループに分かれて話し合いました。



高齢者支援	新たに考えられた活動
① 高齢者が安心して気軽に参加できるコミュニティ	☆サロン、老人会行事を増やして参加者を増やす ☆もっと小さな範囲でのサロン活動（個人宅など） ☆抵抗なく気軽に参加できる催しものを作る ☆一人ひとりに声かけ誘う ☆ボランティアバンクの活用 ☆サロンの宣伝（楽しさを伝える）
② 支え合いのまちづくり	☆ボランティアグループを作る ☆老人会への男性の加入増 ☆老人会の役割は何かを考えること
③ 地域で助け合える町	☆地域の行事への参加のすすめ ☆無料巡回バスを運行して動きやすくして ☆カミヤリヤへのバスの回数を増便、連絡バス ☆車いすの有効活用により足を確保する
④ 高齢者が楽しく安心して参加できる組織づくり	☆常時開放した公民館（誰でも自由に使える） ☆小学校に高齢者、子どもが集まれる部屋を作る ☆近辺で野菜づくり（会話、体づくり） ☆認知症予防ラダーレーニングを広める
⑤ 高齢者が安心して生活できるまち	☆健康推進サポーターによる対策（老人会）活用 ☆高齢者健康状態の把握 ☆訪問回数を増やしてよき話し相手となる
⑥ 高齢者が安心して生活できるまち	☆参加しない方々は時々声かけ、様子を見に行く ☆本人が拒絶する人には周りで見守る ☆地域の見守り活動グループをつくる ☆高齢者の現状のリストを作りマップを作成 ☆高齢者支援のためのネットワークづくり ☆個人情報もう少しオープンに